

平坦な道で歩きやすい。のんびりペースで散策コース

のどかな山里の風景にほっとできる 尾呂志

おろし



風伝おろし(風伝の朝霧)

巨大な朝霧が滝のように山から集落へ流れ下りてくる現象です。条件がそろると、尾呂志地区はこの幻想的な世界に包まれます。

風伝おろしは、山の向こうにある盆地の空気が冷やされてできた霧が、熊野古道「風伝峠」を越え、あたたかい海側に流れ込んでくるときに見られます。雨のあとや朝晩の気温の寒暖差が激しいとき、海側と山側の気温差が大きい季節がチャンスです！時間は夜明け前～午前8時頃、晩秋～冬にかけてのシーズンが最もきれいに見られるといわれています。



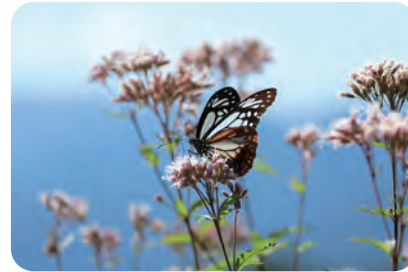
クマノザクラ

103年ぶりに発見された新種のサクラです。紀伊半島南部が原産で、自然林に自生しています。これまでヤマザクラとして扱われていましたが、森林総合研究所の調査により2018年に新種と判断されました。開花期は3月中旬～下旬頃です。



2 上野の大杉

風に耐える枝ぶりが特徴的な2本の大杉です。尾呂志城の鎮守地だった場所にあり、むかしは今より巨大な杉がそびえていました。その大杉は幹まわりが47尺(約14m)もあったそうですが、残念ながら1885(明治18)年に焼失してしまいました。幻の大杉を想像しながら、現存する2本の杉を見上げてみませんか。



旅する蝶アサギマダラ

日本列島を縦断し、長距離を旅するチョウです。翅(はね)を広げた大きさが10cmほどで、淡い浅藍色(あさぎいろ、薄い水色に近い色)のまだら模様があります。この地区も渡りの道すじのひとつとして知られており、秋になると飛来します。もしかしたら、ふわりふわりと舞うアサギマダラの姿を見ることができるかもしれません。



5 宿泊施設 MikanHotel

Mikan Hotelは、休園になっていた保育園を改装した「御浜ローカルラボ」内にあり、日本国内はもちろん海外からのお客さまをお迎えする宿泊施設です。施設内には、天然酵母のパンやヴィーガンカレー、定食、スイーツなどが楽しめる飲食店もあります。

1 さぎりの里

地元の人が心をこめてつくったお米や新鮮な野菜などを販売する農産物直売所です。手づくりのさぎり餅、お菓子、こんにやくなどの加工品もあり、おみやげ探しにおすすめです。敷地内には岩清水豚が食べられるお食事処「さぎり茶屋」と熊野古道の情報を提供する無人の無料休憩所「熊野古道地域センター」を併設しています。



4 酒蔵跡の石積み

尾呂志はお米がおいしいことで知られています。風伝おろしがつくる昼夜の寒暖の差や、山から流れる美しい水が味わいを深くするからです。以前はこのお米を使った日本酒を仕込む酒蔵がありました。今は当時の建物をみることはできませんが、跡地に残る石積みからは、かつての規模の大きさをうかがうことができます。

美しい田園、山里を歩こう

START

- 七里御浜TICを出発
- 車で約20分
- 10:00 ① さぎりの里
- 徒歩約5分
- 10:05 ② 上野の大杉
- 徒歩約2分
- 10:10 ③ 尾呂志学園的石
- 徒歩約16分
- 10:30 ④ 酒蔵跡の石積み
- 徒歩約15分
- 10:45 ⑤ Milkan Hotel

みかんやさぎり餅を買って出発!

酒蔵跡の西側にある池の石積みもすてき!



歩いて体感、山里の風



クマノザクラ

風伝おろし撮影ポイント

